

清水小校長室だより No.2

2019. 4. 18(木) 文責：筒井

新年度2週間が経ちます

入学式、始業式から今週末で2週間です。

葉桜は日に日に濃い緑になり、校庭南側斜面に咲いているツツジも満開を過ぎました。



(交通安全教室 4/16)

1年生も今週月曜日から給食が始まっています。朝の登校時も3・4年生の元気な子どもたちに混じって、職員室、校長室、事務室と窓越しに大きな「おはようございます。」の声が聞こえます。1年教室からは元気な声が聞こえてきます。休み時間には運動場を走り回ったり、シーソーやブランコ、雲梯、ジャングルジムで元気に遊んでいます。今週はタイヤ乗りが流行っています。最初は怖がっていたのに、みるみる間に乗れる様になっています。(子どもってすごい！)

教室を回るとどの教室も落ち着いて授業がされています。子ども達も新しい学年、新しい先生との出会いに、意欲的になっているのでしょう。

もちろん課題もたくさんあります。年度初日からトラブルやアクシデントが続きました。

今週は、下校後帰宅しない児童を探して、連続で捜索隊？が出動しました。(遊んでいて無事帰宅！)

たくさん子どもたちが生活する場です。色々な事があって当然です。その中で子ども達は、様々な事を学びながら、成長していく場が学校です。

私たちは、教育に携わるプロとして、子ども達への愛情と使命感・責任感を強く自覚し、誠実に対応していかねばと強く思っています。

その一方で、先生達には「日々起こる様々な事を楽しもう。」「どんな解決策を探るかもこの仕事の楽しみです」とも話しています。

明日から家庭訪問も始まります。保護者の皆様にはお忙しい中、時間をとっていただきありがとうございます。年度当初の期待もあるし、不安なこともあると思います。年度はじめのこの機会に、ぜひ、担任との絆を深めていただきますようお願いいたします。

本日実施しました

全国学力調査(6年)／標準学力調査(2～5年)

6年生は全国学力学習状況調査(国・算)、2年生～5年生は標準学力調査(国・算)です。子ども達一人一人の学習の定着状況を把握する大切な機会と捉えています。結果を分析し、授業改善や加力指導に活かしていきます。

個人の結果は6年生は2学期に、2～5年生は1学期末の個人面談の時に、家庭にお知らせする予定です。

地震・津波の避難訓練をしました

先週金曜日に、今年度はじめの地震と津波の避難訓練を実施しました。

『♪♪…緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください…♪♪』



10時40分、3時間目が始まってすぐ、突然校内に緊急地震速報が流れました。子ども達は、まず揺れが収まるまで、机の下などで自分の身を守ります。

次に「揺れが収まりました。避難を開始してください」の放送で一斉に避難を開始します。

地震・津波の際の一次避難場所は、清水ヶ丘です。1階の1～2年生は教室から外に出て、校舎東側の通路を通過して、プール北側から避難します。

2階の3～6年生はベランダや廊下から、校舎東側の避難通路・階段を通過して避難します。

避難開始の放送から、全員が清水ヶ丘の避難場所に集合するまで約9分でした。今回は警察署にも協力をお願いし、安全に誘導してくれました。

今年も年間を通して、抜き打ちで避難訓練をします。地震・津波だけでなく、火災や不審者についても実施する予定です。

いつ、どこで地震や津波等の非常事態に遭っても『自分の命を自分で守る』ことができる力を付けたいと思います。

清水小は震度4以上の地震の際には、インターネットの光回線を使って、すぐに緊急地震速報が校内全体に流れるシステムが完備されています。「地震の見張り番」通称(ナマズ君)と言います。今回の訓練もこのシステムを利用しました。

ちなみに高知県の公表では、清水小学校は

- 校庭の標高 12.2m
- 海からの最短距離 390m
- 30cmの津波到達時間(校庭)約32分
- 津波最大浸水 4m(校庭)

となっています。

校舎敷地は校庭よりも約2m高くなっています。校舎1階の津波の予想最大浸水は約1mとなっています。新校舎は十分な耐震性があり、地域の津波避難ビルにも指定されております。

さらに清水ヶ丘の一次避難場所(四国銀行の東側)よりも校舎3階がかなり高い位置にあります。しかし、東日本大震災を教訓に、より高い所に避難ができるように、大津波警報が出るような大地震の時は、屋外避難を原則にしています。

但し、地震の規模や発生場所、天候などによっては、校舎3階や体育館への避難もありますので、こちらへの避難訓練も実施します。

(せのびです)

◎気持ちのよい、青空が広がっています。うーん!

今1年教室からチューリップの歌声が聞こえます。